

マルチ入力PCSのVPPリソース化

2018年9月28日

一般社団法人 日本電機工業会
HEMS専門委員会

マルチ入力PCSのVPPリソース化

● 検討の契機

第7回ERAB検討会にて指摘された、以下の状況を踏まえて検討を開始。

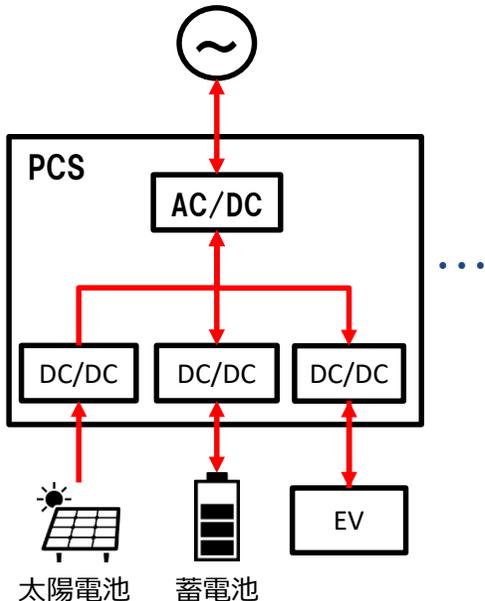
- 太陽光と蓄電池を1つのPCSで制御するハイブリッドPCSという製品が登場
- EVの接続も追加したマルチソースPCSの開発が進められている

● 現在の検討状況

以下の方針でWGにて検討中。

- 新たなECHONET機器オブジェクト（マルチ入力PCSクラス）追加及びプロパティの検討が必要
- 一方で、既にECHONETプロパティが策定されている機器にまで影響を与えるべきではない

【イメージ】マルチ入力PCS



※マルチ入力PCSは、複数の直流リソースから電力が混ざって出力されるなど、リソース間で電力が行き来することとなる。

現在、JET（電気安全環境研究所）にて個別試験方法が規定されているマルチ入力PCS

- 太陽光発電システム + 蓄電池システム
- ガスエンジンコージェネシステム + 蓄電池システム
- 定置型小型燃料電池システム + 蓄電池システム
- 太陽光発電システム + 電気自動車等搭載蓄電池（直流接続型）
- 太陽光発電システム + 蓄電池システム + 電気自動車等搭載蓄電池（直流接続型）